

TAKE FREE

八代の民俗芸能・祭りを知るならこの1枚！

# DENDEN PRESS

2025

April

No.40

花より団子…

団子よりお祭り民俗芸能！

民俗芸能・お祭り情報満載♪

笠鉾本蝶蕪の鉄製真棒新調情報！

笠鉾スタンプ

4/20~5/24

かざほそてつ  
笠鉾蘇鉄

天下泰平を願う  
おめでたい飾り  
が一杯



4/12 までは  
亀蛇スタンプだよ

葉木神楽は、近くの樅木地区に伝承する樅木神楽と同様に、椎葉村の椎葉神楽から神楽を習ったと伝えられているんだ。実際に演目名や舞うときに持つ採り物、神楽の動きに影響が見られるよ。だけど、どうも椎葉神楽や樅木神楽より、舞の動きが大きくて、テンポも早めなんだ。そこがとても力強いんだよね♪

そして、舞手を持つ神楽鈴と、太鼓のリズムが、舞い始めは少しずれていたのがどんどん合っていくのが心地いいんだ。葉木地区までちょっと遠いけど、ぜひ見に行ってみてね♪

4月から新しい生活を送る人もいるかもしれないね。新しいことついでに、推しの民俗芸能を見つけてみるのはいかがかな？

今回は、泉町葉木地区で伝承されてきた「葉木神楽」の公演情報をお知らせするよ。

葉木神楽は、毎年、葉木神社で行われる旧暦の3月15日の春季大祭と、旧暦10月17日の秋季大祭で奉納されているよ。

今年の春季大祭は、4月12日(土)が開催日で、10時ぐらいから神事をした後、神楽の奉納があるよ。以前は、夜に行われていたらしいけど、今は、多くの人が参加しやすいように昼間に行っているんだって。

民俗芸能公演情報  
葉木神楽



でんでん丸





## 不定期連載 かぐらちゃんの「でんでんつれづれ日記③」 樅木神楽保存会の方々と太宰府天満宮へ♪

第3回目のつれづれ日記は、2月25日(火)に泉町樅木地区に伝承される樅木神楽の保存会の方々について行って福岡県の太宰府天満宮に行ってきた話をしますね♪泉町の樅木地区は、太宰府天満宮の祭神、菅原道真公すけわらみちざねに関連する伝承が残る地域で、樅木天満宮には、太宰府天満宮公認の飛梅とびうめが植樹されているなど、繋がりが強いんですよ。

この日は、菅原道真公の命日いのちのひで、「梅花祭ばいけさい」と「飛梅講社大祭とびうめこうしゃだいさい」が執り行われました。飛梅講社に加入している樅木神楽保存会さんは、晩白柚など八代の特産物を献上されていたわ。

神事では、梅の枝に鈴をつけた採り物を持った巫女たちによる「飛梅の舞」が舞われたり、玉串がサカキではなく梅の枝だったり、道真公が愛したという梅づくしの神事でした。

そして、太宰府遊園地の出入口付近にある「五家荘園ごかのしょうえん」には神楽保存会から贈られたシャクナゲが植樹されているんです！みなさん知っていましたか？近年は、ミツバツツジも植えられたそうです。強い繋がりがあある樅木地区と太宰府天満宮との関係にびっくりしっぱなしの一日でした。ぜひみなさんも行かれた際には五家荘園のシャクナゲを見てみてください♪



「五家荘園」の石碑(太宰府遊園地そば)

## 笠鉾かさぼこ本蝶ほん蕪ちようの鉄製真棒かぶ ~本・蝶・蕪にはこれがないと~



今日はちょっとみんなが知らない話を教えるわね。笠鉾本蝶蕪は、城下町の中心の町だった本町の笠鉾よ。笠鉾って、最初は一人で持つ大きな傘で、その上に町の名前の付いた飾りがついていたの。だけど、笠鉾が大きくなるにしたがって一番上の飾りは物語の主人公に変わったりしていったのよ。毎年同じ町が出すんだったら町の名前を付けなくてもいいじゃんってなったのかもね。だけど、本町の人たちは町の名前にこだわって、本蝶蕪という飾りにしたのよ。「本」は本町の本、「蝶」は町(どっちも「ちょう」と読むものね)、「蕪」にはいろいろな意味があるみたいだけど、本蝶蕪で本町が栄えるようにという願いが込められているの。ここまで町名にこだわったんだから祭りの時は目立たせたいわけ。だから、骨組の中に鉄製の棒(真棒)を差し込んで、真棒の先に本・蝶・蕪を刺すようにしたの。真棒の根元の滑車に紐を通して、それを引くと本と蝶=本町が上にあがって遠くからでもよく見えるような仕組みにしたのよ。あっぱれだわ👏ところが、一昨年の妙見祭の前日に真棒が折れてしまったのよ😞その時は応急処置をしたの。でも、「新しく作り直さないと」と町の人たちが作ってくれる人を方々探したんだけど、真棒の先の滑車かたなかじを作るのが難しくて断られたみたい。職人の誇りにかけて受けてくれたのは二見の刀鍛冶さん。出来上がった真棒に私も感動しちゃったわ。どうやって滑車を入れ込んだのかしら。

普段は笠鉾の中の部分は見えないけれど、そこにも町の人たちの熱い思いがこもっているのよ。

完成した真棒に満足の本町一丁目と二丁目の笠鉾代表→



イベント情報・おしらせ  
やつしる文化財講座①

「初めての妙見祭(入門編)」

とき 4月27日(日) 10時~11時

ところ お祭りでんでん館 会議室

講師 お祭りでんでん館

学芸員 早瀬輝美

定員 40人 事前申込不要

「なぜ妙見祭というのか?」「どうして神が神輿に乗って移動して行くのか?」「それぞれの出し物にはどんな意味があるのか?」など知っているようで知らない妙見祭のナゾをわかりやすく解説します。

問合せ お祭りでんでん館

☎ 37-18737

印鑰神社春季大祭

鏡が池鮎取神事

鏡が池鮎取神事が今年も開催されます。

鮎取神事のほか、大鞆節などの民俗芸能の奉納もあります♪

とき 4月29日(火・祝)

御発輿神事・10時~(神社拝殿)

※民俗芸能の奉納有

鮎取神事・15時~15時30分(鏡が池)

※時間は状況によって前後することがあります。

詳細はこちら↓



印鑰神社  
公式 HP



お祭りでんでん館(八代市民俗伝統芸能伝承館) 〒866-0863 熊本県八代市西松江城町1-47  
TEL 0965-37-8737 FAX 0965-37-8738 MAIL bunka@city.yatsushiro.lg.jp



でんでんHP



Instagram



会議室予約